

様式 1

教科用図書第 3 採択地区調査委員会

(保健体育) 小委員会委員長

皆 川 一 海



<p>調 査 研 究 審 議 の 経 過</p>	<p>1 審議経過の概要</p> <p>(1) 審議の対象となった発行者名及び数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京書籍、大日本図書、大修館書店、学研の 4 者 <p>(2) 調査研究の手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回調査委員会（7 月 8 日）で 4 者の教科書を配付し、調査の観点や手順を協議した。 ・第 2 回調査委員会（8 月 3 日、4 日）に、各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式 1 について整理するとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ、様式 2，様式 3，を作成した。 <p>(3) 調査研究のための観点、項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取扱内容については、保健分野、体育分野ともに、どのような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっているか、また主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、どのような学習活動が取り上げられているかという視点で調査し整理した。 ・内容の構成・排列等については、学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されているかという視点で調査し整理した。 ・使用上の配慮等については、生徒の学習意欲を高めるよう工夫されているか、自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているかという視点で調査し整理した。
<p>全 体 を 通 じ て の 特 徴</p>	<p>2 審議経過の概要</p> <p>(1) 各者の状況は次の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京書籍については、保健分野では、がんの発生の仕方や要因、地震が起きたときの一次災害や二次災害の回避方法、下水道の普及と川の水質との関係や水を汚さない工夫についてという特色があり、優れている。また体育分野では、自分の地域のスポーツ振興に関する計画について調べたりする活動に特色があり、優れている。 ・大日本図書については、保健分野では、喫煙や飲酒、薬物乱用のきっかけ、自然災害に対する備えや、発生した場合の行動や傷病者を発見したときの行動、温熱条件や明るさの至適範囲についてという特色があり、優れている。また体育分野では、国際的なスポーツ大会と国際親善や世界平和との結びつきについて考える活動に特色があり、優れている。 ・大修館書店については、保健分野では、喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけ、自転車に乗るときの決まりや様々な応急手当の方法、災害による環境の悪化や健康との関係についてという特色があり、優れている。また体育分野では、生涯にわたってスポーツに親しむことの大切さについて考える活動に特色があり、

優れている。

- ・学研については、保健分野では、がんの主な原因や予防の方法、緊急地震速報が出されたときの行動、心肺蘇生法の流れ、体の適応能力を超えた環境例や水の汚染を防ぐことについてという特色があり、優れている。また体育分野では自分に適した運動内容や運動量を考え、生活の中に取り入れる活動に特色があり、優れている。

(2) このほか、大修館書店と学研については、「北海道と関わりのある内容」について、写真や文章による説明が比較的大きく記載されていた、などの話題も出されていた。

保健体育の目標について

【教科の目標】

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

【学年・分野・領域等の目標など】

[第1学年及び第2学年]

- (1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。

[第3学年]

- (1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動についての自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。

【参考】

- 目標の改善
教科の目標については、従前、「心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる」としていたものを、次のように改善を図った。
- 標準授業時数
・第1学年－105単位時間 第2学年－105単位時間 第3学年－105単位時間
※3学年間で各分野に当てる授業時数は、体育分野267単位時間程度、保健分野48単位時間程度

様式 3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	2・東書	第1・2・3学年	保体・701	新しい保健体育
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<p>○ 保健分野については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「健康な生活と疾病の予防」については、がんの発生の仕方や要因について調べたり、感染症の原因となる病原体の種類や感染経路などについて、比較したりする活動を通して理解を深めるとともに、課題を発見し、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。 ・「心身の機能の発達と心の健康」については、思春期に起こる体の変化の理由について調べたり、自分が行っているストレスへの対処の方法についてチェックしたりする活動を通して理解を深めるとともに、課題を発見し、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。 ・「傷害の防止」については、衝突事故の人的要因と環境要因について考えたり、地震が起きたときの一次災害や二次災害の回避の方法について話し合ったりする活動を通して理解を深めるとともに、危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現する。 ・「健康と環境」については、下水道の普及と川の水質との関係や生活の中で水を汚さない工夫について考えたり、教室の換気の回数と空気の汚れとの関係について話し合ったりする活動を通して理解を深めるとともに、課題を発見し、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。 <p>○ 体育分野については、運動やスポーツの楽しみ方やこれからのスポーツライフについて考え、仲間と比較したり、スポーツの文化的意義を踏まえ自分の地域のスポーツ振興に関する計画について調べたりする活動を通して、運動やスポーツの多様な楽しみ方や現代社会におけるスポーツの文化的意義について理解するとともに、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考、判断し、他者に伝えるなどの学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野については、健康と環境の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、資料を基に衛生的な水はどのように確保されているのかを調べ、海外の水道水の管理面や健康面で考えられる問題について話し合うなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動 ・体育分野については、運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、資料を基に運動やスポーツ中における社会性について考え、心身や社会性の発達にどのような効果をもたらすかを話し合うなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動 			
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野については、小学校で学習した思春期の男女の体の変化について振り返る学習をした後に、ホルモンの働きや生殖機能の発達、異性への関心を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・体育分野については、第1学年で運動やスポーツへの多様なかわり方を学習した後、豊かな交流や伸びやかな自己開発の機会などスポーツの文化的な意義を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>保健分野は136ページ、体育分野は37ページ、その他は18ページであり、総ページ数は191ページで、前回より約10%増となっている。</p>			
使用上の配慮等	<p>○ 巻頭に「オリンピック・パラリンピック」や「共生」などを切り口とした口絵を掲載したり、各章末に章の学習内容に関連した資料を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 日常経験などから課題の発見につながる発問を設定したり、課題の解決に結び付くヒントなどをキャラクターの吹き出しで示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 1単位時間の学習課題と一緒に学習のキーワードを示し、巻末にキーワードの解説を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	<p>※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

様式 3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	4・大日本	第1・2・3学年	保体・702	中学校保健体育
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保健分野については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「健康な生活と疾病の予防」については、自分の生活を振り返り、規則正しい1日の生活についてグラフを作成したり、喫煙や飲酒、薬物乱用のきっかけについて話し合ったりする活動を通して理解を深めるとともに、課題を発見し、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。 ・「心身の機能の発達と心の健康」については、自分の体がどの時期にどのように変化してきたのかについて振り返ったり、ストレスの原因について考え、対処の実習をしたりする活動を通して理解を深めるとともに、課題を発見し、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。 ・「傷害の防止」については、地域で起こりやすい自然災害に対する備えや自然災害が発生した場合の行動について調べたり、傷病者を発見したときの行動について話し合ったりする活動を通して理解を深めるとともに、危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現する。 ・「健康と環境」については、温熱条件や明るさの至適範囲について考え、教室の温度や明るさなどを調べたり、廃棄物を減らすための家庭や地域での取組について話し合ったりする活動を通して理解を深めるとともに、課題を発見し、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。 ○ 体育分野については、運動やスポーツを行うことで得られる心身への効果について話し合ったり、国際的なスポーツ大会と国際親善や世界平和との結びつきについて考えたりする活動を通して、運動やスポーツが心身及び社会性に及ぼす効果や、国際的なスポーツ大会などが果たす文化的な意義や役割について理解するとともに、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考、判断し、他者に伝えるなどの学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野については、健康な生活と疾病の予防の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、資料を基にがんにかかりにくくするための方法を話し合い、身近な大人に向けてがんに対する行動のアドバイスを発表し合うなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動 ・体育分野については、運動やスポーツの多様性の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、資料を基に運動やスポーツの必要性について話し合い、自分にとっての必要性や楽しさについて考えるなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動 			
内容の構成・排列、分量等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野については、小学校で学習した思春期の男女の体の変化について振り返る学習をした後に、生殖機能の発達や性への関心、性情報との向き合い方を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・体育分野については、第1学年で運動やスポーツの多様な楽しみ方を学習した後、スポーツの文化的な意義や役割、人々を結び付ける働きを取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ○ 内容の分量については、次のようになっている。 保健分野は123ページ、体育分野は40ページ、その他は8ページであり、総ページ数は171ページで、前回より約8%増となっている。 			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に様々な国際大会で活躍する選手の写真や現代的なテーマの口絵を掲載したり、学習内容に関連した「トピックス」や「ミニ知識」を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各章の扉に章のイメージや学習内容、小学校、中学校、高等学校の系統性を示したり、章末に章の学習と関連のある資料を掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 各章の最後に学習のポイントとなる重要な言葉をまとめ、内容の整理に生かす「学習のまとめ」を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「WEBマーク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ※中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 			

観 点 番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	50・大修館	第1・2・3学年	保体・703	最新 中学校保健体育
<p>取扱内容</p> <p>学習指導要領の総則及び各教科 各学年</p>	<p>○ 保健分野については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「健康な生活と疾病の予防」については、生活習慣病の要因や予防について考えたり、喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけや対処の仕方などについて、話し合ったりする活動を通して理解を深めるとともに、課題を発見し、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。 ・「心身の機能の発達と心の健康」については、思春期の発育・発達や個人差について考えたり、様々なリラクゼーションの方法について実習したりする活動を通して理解を深めるとともに、課題を発見し、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。 ・「傷害の防止」については、自転車に乗るときのきまりや交通事故を回避するための方法について考えたり、応急手当の一般的な手順を踏まえ、様々な応急手当の方法について実習したりする活動を通して理解を深めるとともに、危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現する。 ・「健康と環境」については、災害による環境の悪化や健康との関係について考えたり、ゴミなどが衛生的に処理されなかった場合の健康に及ぼす影響について話し合ったりする活動を通して理解を深めるとともに、課題を発見し、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。 <p>○ 体育分野については、チェックリストを基に運動やスポーツを安全に行うために気を付けることを確認したり、生涯にわたってスポーツに親しむことの大切さについて話し合ったりする活動を通して、運動やスポーツの安全な行い方や現代生活におけるスポーツの文化的意義について理解するとともに、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考、判断し、他者に伝えるなどの学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野については、心身の機能の発達と心の健康の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、資料を基に性衝動や性の尊重、性情報への対処などについて考え、性情報の入手先を情報の具体性や正確性などの視点で確認するなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動 ・体育分野については、運動やスポーツの多様性の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、運動やスポーツへの多様なかわり方について考え、中学校生活の中でできることを「する、見る、支える、知る」の視点で発表し合うなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動 			
<p>内容の構成・排列・分量</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野については、小学校で学習した喫煙が体に及ぼす影響について振り返る学習をした後に、たばこの煙に含まれる有害物質や喫煙者及び周りの人に及ぼす害を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・体育分野については、第1学年で運動やスポーツの多様な楽しみ方を学習した後、人種や性の違い、障がいの有無などを越えて人々を結び付けるスポーツの文化的な働きを取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>保健分野は132ページ、体育分野は40ページ、その他は11ページであり、総ページ数は183ページで、前回より約11%増となっている。</p>			
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 巻頭に日常生活や国際社会にかかわる出来事を取り上げた口絵を掲載したり、事例やコラムで中学生の興味・関心の高い話題などを掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 巻頭に教科書の使い方や保健体育の学び方を掲載したり、深く考えるためのヒントなどをキャラクターの吹き出しで示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 学習を進めるに当たってポイントとなる重要語句を「キーワード」にまとめ、太字で示したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「web保体情報館」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
<p>その他</p>	<p>※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	224・学研	第1・2・3学年	保体・704	中学校保健体育
				<ul style="list-style-type: none"> ○ 保健分野については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「健康な生活と疾病の予防」については、チェック表で1週間の生活を確認し、よい点や改善点について考えたり、がんの主な原因や予防の方法について意見を出し合ったりする活動を通して理解を深めるとともに、課題を発見し、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。 ・「心身の機能の発達と心の健康」については、思春期のダイエットが体の器官に及ぼす影響について調べたり、事例を基に性情報への対処の方法について話し合ったりする活動を通して理解を深めるとともに、課題を発見し、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。 ・「傷害の防止」については、緊急地震速報が出されたときの行動について話し合ったり、「ポイントチェックシート」を基に心肺蘇生法の流れについて実習したりする活動を通して理解を深めるとともに、危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現する。 ・「健康と環境」については、事例を基に体の適応能力を超えた環境の例について話し合ったり、水の汚染を防ぐための工夫や方策について、意見を出し合ったりする活動を通して理解を深めるとともに、課題を発見し、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。 ○ 体育分野については、スポーツ活動の安全な行い方を踏まえ、自分が活動を行うときのチェック項目を作成したり、人々を結び付ける働きのあるスポーツの効果や影響について話し合ったりする活動を通して、運動やスポーツの安全な行い方や人々を結び付けるスポーツの文化的な働きについて理解するとともに、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考、判断し、他者に伝えるなどの学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野については、健康な生活と疾病の予防の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、過去1週間に行った運動について振り返り、資料を基に自分に適した運動内容や運動量を考え、生活の中に運動を取り入れる工夫について考えるなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動 ・体育分野については、運動やスポーツの多様性の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、生涯にわたってスポーツを楽しく続けるポイントについて考え、大人になってもスポーツを継続するために必要な環境や工夫について発表し合うなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動
内容の構成・排列、分量等				<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野については、小学校で学習した喫煙や飲酒の開始のきっかけや理由について振り返る学習をした後に、個人や社会的環境の要因、防止に向けた対策を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・体育分野については、第1学年でスポーツの楽しさや必要性を学習した後、体の発育・発達や体力の維持・向上、心に及ぼす効果を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ○ 内容の分量については、次のようになっている。保健分野は132ページ、体育分野は38ページ、その他は30ページであり、総ページ数は200ページで、前回より約12%増となっている。
使用上の配慮等				<ul style="list-style-type: none"> ○ 各章の扉に学習内容と関連がある専門家のメッセージを掲載したり、身の回りの情報等と健康との関連を示した「保健体育と情報」を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 巻頭に教科書の使い方や学習の方法を掲載したり、学習内容の要点や日常との関係などをキャラクターの吹き出しで示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 各章末で習得した知識の確認や学習内容を振り返り、実生活につなげる「章のまとめ」を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「教科書サイト」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 			